

## Design シンポジウム 2012 開催報告

日時：2012年10月16日（火）～17日（水）

開催地：京都大学百周年時計台記念館

主催：日本建築学会（幹事学会）、日本機械学会、精密工学会、日本設計工学会、日本デザイン学会、人工知能学会

協賛：The Design Society、横断型基幹科学技術研究団体連合、日本認知科学会、International Association of Societies of Design Research

ウェブページ：<http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s22/index.html>

開催概要：

講演件数 101 件（3 室の平行セッション）、参加登録者数約 180 名、聴講者 120 名

基調講演 1 件（原広司 東京大学名誉教授）

招待講演 2 件（原研哉 武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科教授、松原厚 京都大学工学研究科マイクロエンジニアリング専攻教授）

パネルディスカッション：21 世紀社会のための「デザイン学」の展望

日本機械学会からは、首都大学東京 下村先生、大阪大学 藤田先生と、泉井の 3 名が運営委員として、また、大阪大学 福重先生と首都大学東京 千葉先生の 2 名が若手ワーキンググループメンバーとしてシンポジウム開催実務に参画された。

報告者：京都大学 泉井一浩